

第23号

平成19年3月1日

題字 故 綾部義彦氏
(静岡県家庭婦人バレー連盟会長)

今連盟だより

発行 静岡県家庭婦人バレー連盟事務所 〒436-0221 掛川市上垂木1061-1

よりよい連盟に

会長 湧美みつ

平成十七年四月、新体制での連盟役員就任から一期二年が、無事過ぎようとしています。この間、チームの皆さん、各関係の方々、諸先輩方の絶大なご支援に支えられ、諸行事や大会が予定どおり一つ一つ消化されて参りました。ご協力ありがとうございました。

連盟という組織の中にしつかりと敷かれたレールは先輩方の努力の賜物だと思いますが、そのレールに沿って走りながら、連盟発足当初から受け継がれている精神や決め事に、新しいものも交えながら、次代へとやさしく引き継ぐ、これが私の役目ではないかと思つております。

毎年、大会の模様をテレビ放映しているたゞいている『コカ・コーラセントラルジャパンカップ』が昨年三十回という節目の大会になりました。この記念すべき年に「特別賞」をいたぐことが出来ました。私のバレー人生でも特筆すべき出来事となり、感謝の気持ちで一杯です。

コカ・コーラ様とは家婦連の発足間もなくからのご縁で、私達は“スカッ”とさわやかコカ・コーラと共に歩み、成長させていただいたと申し上げても過言で

はありません。“ご支援に対し心から感謝申し上げますと共に、今後も変わらぬご交誼をお願いしたいと思います。

昨年の世界バレーでは、全日本の男子、女子共にベスト8入りを果たし、私達バレーボール愛好者の気持ちを奮い立たせてくれました。本当に素晴らしいと思いました。

低迷を続ける日本のバレー界も、

これで持ち直し、世界にもう一度羽ばたいてくれることを望んでいます。

さて、静岡県内のママさんバレーも、年々その技術と結束力が増し、大会毎に素晴らしい試合が展開され、試合時間も長くなっています。チームの多くの皆さんに心から楽しんでもらうにはどうしたらよいか、役員一同常に心を碎いて企画・運営に携わっております。皆さんからご意見、ご要望等ありましたら是非お聞かせ下さい。



朝日をあびて

理事長

戸塚美代子

十八年度の各大会、審判講習会、バレーボール教室などの事業が無事終了出来ました事は、県協会、協賛社、諸先輩をしてチームの皆様のご協力、ご支援によ

るものと深く感謝申し上げます。

毎朝いなかの道を軽いウォーキングを

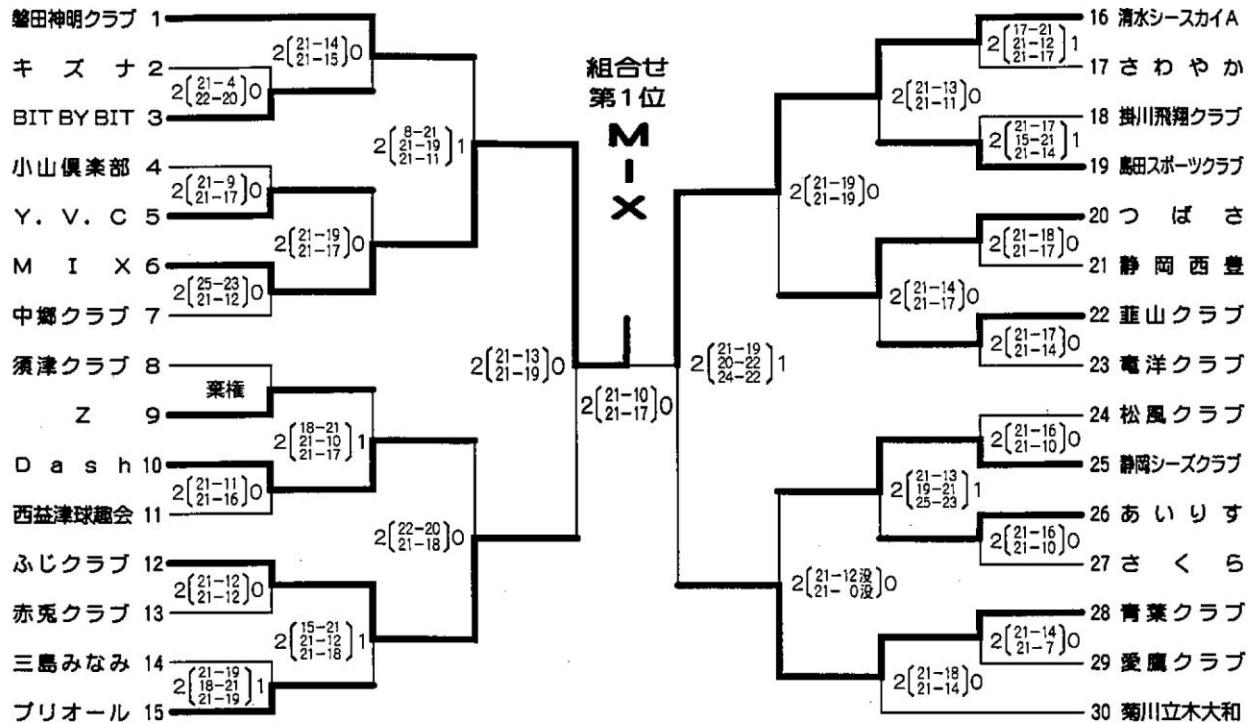
しながら、朝日に向かつて「今日も一日頑張るよ。」とつぶやく。陽はまた昇ると言う言葉がありますが、太陽は沈んで必ず昇つて世界中のすべての人に明るさを与えてくれます。朝日を浴びながら「ど

んなに困難なことに直面してもくじけず前向きに立ち向かつて行こう」と思うのです。朝日を浴びることが私の元気の源です。朝日を浴びながら歩くのです。私は「元気、勇気、やる気」という言葉が好きですが、まず夢や目標に向かって前向きにやる気になる事、失敗を恐れて後ろ向きになるのではなく、プラス思考で前に進んで行きたいと思います。

十九年度は第三回ローソンカップ全国大会が静岡県浜松市で開催される運びとなりました。夢の舞台が目の前に有るのです。みんなで手を取り合つて前進します。みんなで手を取り合つて前進します。多く皆様のご協力、ご支援をよろしくお願ひいたします。

世界にはばたけママさんバー 第2回 LAWSON CUP 静岡県予選大会

期日：平成18年11月19日(日) 会場：県営草薙総合運動場体育館・静岡市立清水商業高校体育館



2位／清水シースカイA 3位／ふじクラブ 3位／青葉クラブ

全国大会派遣審判員を終えて

栗田 美春

「栗田さん、全国の派遣審判お願いしま

すね。」と言われて…、「私でいいの?」と思

いながらも、経験者の方たちのお話を伺つて、絶対無駄にはならないと思い、勉強をするしかないと覚悟を決めました。

全国から派遣されてきた方たちを見れば、

どなたも自信満々に見えて、不安でいっぱい

になりました。でも自信のない顔をして

いては、審判同士はもちろんのこと、選手

の皆さんにも不安を与えてします。女

は度胸!?と審判に臨みました。

ネット張りから、本当に真剣に取り組み、

いいプレーができるように、全国大会を樂

しんでほしい、悔いのない試合をしてほし

いという思いで4日間を過ごしました。

審判は一人じゃない、チームワークです。

主審、副審、記録、練審、点示の気持ちを

合わせてこそいい審判ができるのだと実感

しました。アイコンタクトの大切さを改め

て感じました。お互いに認め合い、感謝し

合い、審判ができることが、向上にもつな

がるのだと思います。審判は奥が深く、毎

回反省することはたくさんありますが、ブ

レーヤー、観客、審判団みんなが納得のい

く審判ができるよう精進していきたいと

思います。

小林さんと一緒に派遣でとても心強かつ

たです。未熟者の私たちを、静岡の役員の

方が支えてくださり、「あいりす」の応

援はもちろん、私たちにも声援くださりあ

りがたかったです。

当の本人よりも心配だったのですが…。

開会式から閉会式までたくさん感動を

受け、本当に貴重な経験させていただきました。

全国大会は、今思い出しても、本当に夢

の様な四日間でした。

私が審判員として派遣される事が決まつ

た時から、自分との戦いが始まりました。

ルールブックにらめっこは勿論、実戦で

沢山吹かせてもらう事が一番!と、機会あ

る度に審判台に立たせてもらいました。

大会で審判をやらせてもらった後は、自分の

未熟さに落ち込み、「もうできない、私

力では無理」と逃げたい気持ちになり、「で

も、こんな体験は誰もができる訳ではない、

前向きに、前向きにやるつきやない!」

と自分に言い聞かせ、次の大会までには気

持ちを切り替え、又、出直し!その繰り返

しでした。その間、本当に大勢の方々のお

世話になりました。私の審判を見て、指導

して下さった役員の方々、先輩方、励まして

下さり、又、度胸をつけて下さった方々：

書きません。

そして本番。全国各地から集まつた審判

員の方々、審判という事に誇り、自信を持つ

いる方ばかりに感じ、私も大いに刺激を

受け、甘えた気持ちではない!と。今

まで、沢山の人々に教えてもらった事、身に

つけて来た事を、全て出せる様に頑張るし

かない!と、ある意味、開き直りかもしれ

ない私の心の状態になりました。

全国一位に!と、いう目標を持って練習を

重ねてきた各県の代表チームの方々が、持つ

ている力を發揮できる様支える事が、役割

と思い、審判として真剣勝負でした。選手

の方々の勝利への気持ちがビシンヒンと伝わ

ってくる試合ばかりで感動の連続でした。

この連盟始まって以来の未熟者ではなかつ

たかと思われる私ですが、常に暖かい気持

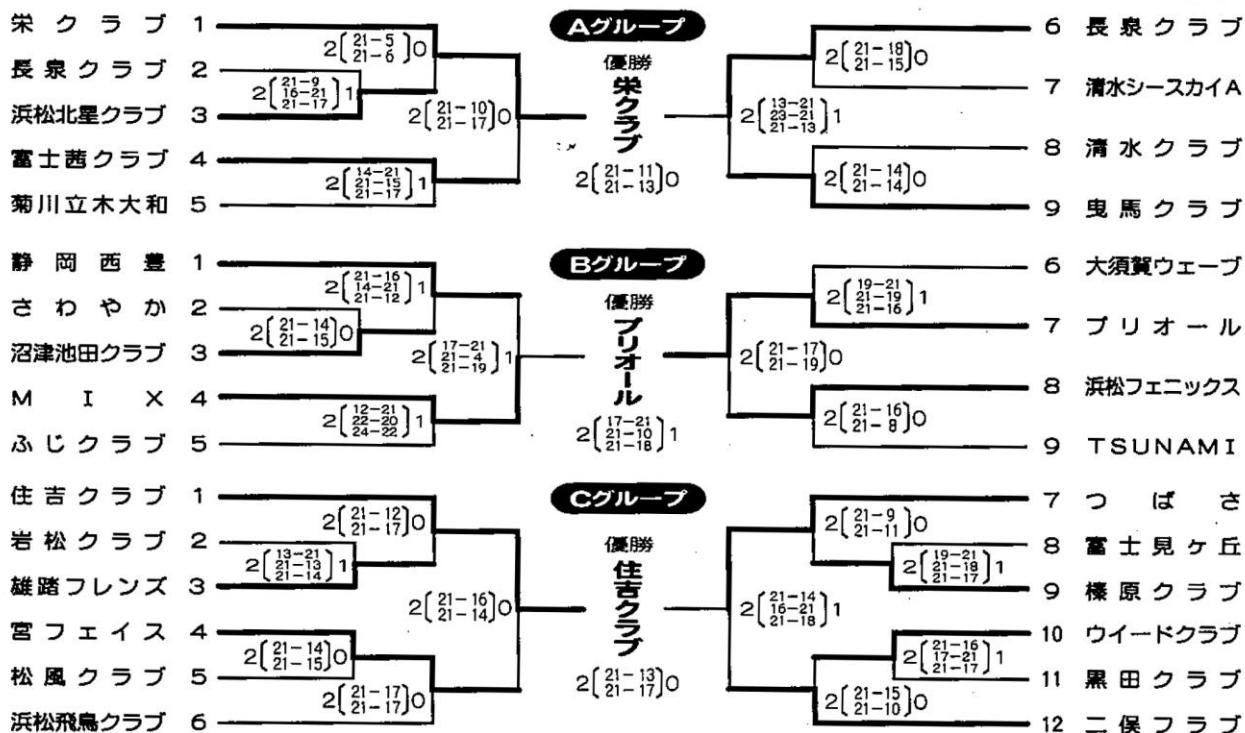
ちで見守り、助言していただき、全国大会

で貴重な体験させていただきました。

小林 優子

◎ コカ・コーラ セントラル ジャパンカップ 第30回 静岡県家庭婦人バレーボール大会 ◎

期日：平成18年9月3日(日) 会場：県営草薙総合運動場体育館・静岡市東豊田中学校体育館



コカ・コーラセントラルジャパンカップ
第三十回静岡県家庭婦人バレーボール大会に参加して

《二俣クラブ 松本裕美》

目標であった県大会出場、入場行進、選手宣誓など、華やかな開会式に参加できたことを、とてもうれしく思います。少ない人数で練習も思うように出来ない時期もありましたが、若い人達の復帰メンバーの加入もありますが、県大会へ出場することができました。

来年はクラスも上がりますが、県大会出場を目指し、全員で力を合わせて楽しいバレーを心がけ、練習していきたいと思います。このようすばらしい大会を開催してくださる、コカ・コーラセントラルジャパン株式会社様、および後援各社の皆様、大会を運営してくださる役員の方々、有難うございました。そして、バレーをやってくれる家族に、感謝しています。

《大須賀ウエーブ 酒井久美子》

第三十回静岡県家庭婦人バレーボール大会に参加して、久々にこの大会に参加する事ができました。新制ウエーブになつてからはなかなか県大会に出場する事ができず、如何に地区予選から勝ち抜く事が大変かを感じます。

県大会で戦う醍醐味を実感できる唯一の試合です。結果的には中部のチームに一回戦敗退でしたが、まだまだ残暑の中で大汗を流しながら戦った試合は、新しいメンバーには新鮮さを、この大会をよく知るベテランメンバーには、懐かしさと同時に新たな闘志を思い出させた事でしょう。

今後も、県大会に出場する事を目標に、出来れば上位入賞となれば最高です。大人になつても学生時代の部活動の時の様な感動を味わえる事に深く感謝します。

いつもお世話になっていますコカ・コーラジャパンのスタッフお皆様、役員の皆様ありがとうございます。

《ワイードクラブ 酒井久美子》

私たちワイードクラブも早、結成10年を迎えてました。皆が主婦であり、妻であり、母親であり、子育ての真っ最中の人もいれば、子育てから開放され、少し気の抜ける時間を持てる様になつた人、またそれを通り越し、孫との一緒に日々過ごす人と…。チーム内の年齢はさまざまです。そんな忙しい時間のなかで練習を重ね、なんとかこの大会だけは都合をつけて出ようと、努力してきたのがコカ・コーラ杯です。

初めて、県大会に出席できたのが第二十七回大会平成十五年でした。初めての、草薙での県大会!!開会式も初めての経験でした。その時に、同じ体育馆で練習する、先輩クラブ、六合クラブの方が応援させていただく機会もあり、少しずつですが新メンバーも加わり充実してきました。あまり対戦するごとのない東部、西部のチームとの試合は、大変勉強になり貴重なものでした。今回は、県大会に出席しながらも、残念なことに良い結果を残すことができませんでしたが、また来年こそはと、みんな頑張っています。コカ・コーラ杯に参加する事と共に、チームが成長していく気がします。

そして最後に、朝早くから準備してくださる家庭婦人連盟の役員の方々、テレビ静岡のスタッフの方、協賛してくださるコカ・コーラセントラルジャパン株式会社様にお礼申し上げます。

《宮フェイス 奥島洋子》

私たち宮フェイスは創部以来、初めて県大会に出席することが出来ました。過去数回は一回戦負けから始まって、あと一步のところまで来ていたのですが、地区大会を勝ち抜くことがなかなか出来ずといました。初めて参加した県大会は、入場行進から始まって、数々のセレモニー…。テレビで見ていたそのもので、感動と少しばかりの緊張で胸がワクワクしていました。

試合は、一つでも多く試合が出来ればと臨みました。残念ながら二回戦で敗退。途中までは接戦でいい試合をしていたと思いますが、やはり最後は実力の差が出てしまった感じでした。攻撃は簡単に

決まらない。決まったと思つてもぎりぎりのところで抬
われて、切り返されて失点。県大会に出てくるチームは
レシート力が素晴らしいとつくづく感じた大会でした。
課題はレシート力！来年の大大会までには、レシート
を重点的に強化し、拾い負けしないチームに仕上げて参
加したいと思つています。

最後にAクラスの決勝を観戦しましたが、さすが！の一
言です。攻撃も守備もレベルの違いを感じました。ネット
ト使いの巧みさにも、ただただ感心するばかりでした。
またプレーが上手なだけでなく、バーーを楽しんでプレー
していることが、本当に素晴らしいです。私たちもい
つかはあのセンターでプレーできることを夢見て
楽しいバーーができるとを目指して、来年もこの場に
立てるのを目標に、練習に励んで行きます。

『清水シリーズA 生松百合恵』

へと練習に励んで何年たつたことでしょう。
三十回という節目の大会にみんなでセンター・コートに立とうと練習に励んできました。私たちチームはスタッフ不足で夏にはめっぽう弱く、夏の大会ではなかなか成績を残すことが出来ずになりました。この反省から冬場にしつかり体作りをと練習メニューを考え、この大会に向けて鍛ええてきました。結果 地区予選では何とか県大会の切符を手にしたものの県大会では一回戦にて敗退。不本意な成績で終わってしまいました。
振り返ってみるといろいろ反省点がありますが、私はちは崩れたときに立て直す事がまだ未熟なチームで安定した試合運びをする事が課題だと思い知らされた大會となりました。決して高さとパワーのあるチームではありませんが速いペースで相手を崩し、自分達のリズムで試合運びが出来るよう、まずはカットを安定させ、そして精神も鍛えて上位に食い込んで行きたいと思
まだまだみんな子供が小さく毎週体験館が保育園のような練習風景ですが、大好きなペールボーリルが出来る事に感謝し、年々こそは私たちチームの合言葉「明るく、楽しく、美しく」を心に、全員ペールで頑張りたいと思
います。

『ふじクラブ』 柴田百合子

のインターネットでモチベーションを高め、決勝までとどいた試合は今までにあったか?と思うほど緊張した。この結果に恥じぬようこれから練習も頑張りたい。(かよ) ●悔しい思いばかり、どうすれば良いか分からずいた。救世主が来た!無我夢中でやつた。バレーボールに対する気持ちが向上し、勝つ喜び、楽しさ、厳しさを教えてくれた大会だった。皆で掴んだ勝利。諦めず戦い、必死に戦った。(ゆき) ●Aグループに居座る事7年目。県大会で初優勝、その時の嬉しさは計り知れないものがありました。会の決勝では負けましたが、チーム全員が同じ目標を持つ出場できず悔しい思いをしてきた。東部地区で初優勝、その決勝では負けましたが、チーム全員が同じ目標を持つてやる事ができたので良かったです。(なお) ●なかなか良い成績を残せずにきましたが、最近の練習は楽しくなって充実していました。その成果あつて、今回セントーコートでプレー。あの胸の高鳴りは何ともいえない快感と緊張感でした。これからもメンバーと一緒に良い汗をかいながら、大きな大会で優勝します。(さと) ●「セントーコートで試合を」の目標を達成する事ができ、チームの心の糧となりました。次にむけ一歩前進です。(すみ) ●想いは叶うが、信条ではある。「優勝」は、簡単に叶うが、今回夢を見た。夢の階段をまたみんなで昇りたい。(ちか) ●動物園のパンダのように皆の視線にさらされた初めての感覚。ビビリ、緊張し、でもそれ以上に私がチームはノッていた。(とも)

今年のふじクラブは、試合に出れる喜びでいっぱいでした。昨年はお産門バーマンが多く、人數が集まらずほんとんど試合に出場できませんでした。しかし残ったメンバーでコツコツ練習を重ね、今年産休メンバーモ復帰しました新しいメンバーも増え、新たな気持ちでスタートし練習方法も自分達で考え前向きにやつてきました。そして迎えたコカ・コーラセントラルジャパンカップです。AグループからBグループへ下がつてしまいまして、Aへ上がりたいという気持ちで予選ではチームが一つになり、自分達のバレーが出来たのですが、県大会では一試合目でなかなか自分達のリズムのバレーが出来ず、3セットで負けてしまい悔しい試合でした。しかし再スタートしたチームは残された課題もたくさん見え、皆話し合いステップアップ出来るよう日々頑張っています。必ず来年は勝ち進んで、Aグループへ返り咲きたいです。

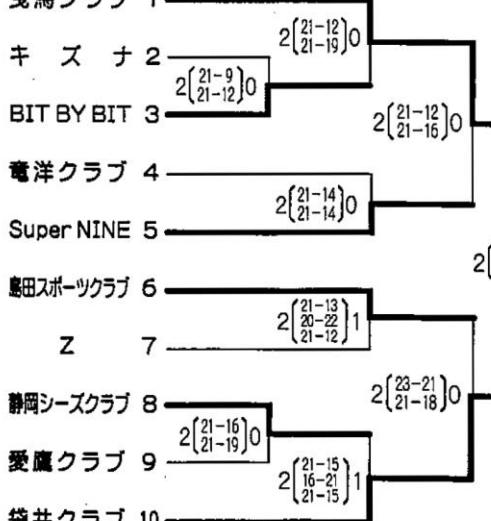
小さな子供達を抱え練習や試合で家を空けるのが大変ですが、送り出してくれる家族に感謝し、協力に答えるれるよう結果を出したいたです。まだまだ未熟なチームですが、来年はこの若いパワー全開で頑張ります。

須津クラブ

●目標に向かいみんなが一つになっていく中、私はそれについていくのが精一杯でした。モチベーションの大切さを感じました。（ぐみ）久しぶりに緊張感のある試合でした。これからはいつでも「楽しいバレー」出来るよう心がけ頑張ります。（やす）●平成11年までは順調に勝ち上がり、Aグルームに上がった後、7年間県大会会場を遠ざかっていたこの大会。厳しかった。でも、みんなの意気込みは並大抵ではなく、気持ちが一つになつた結果だと思ふ。（くり）●T.V放映、永井アナ

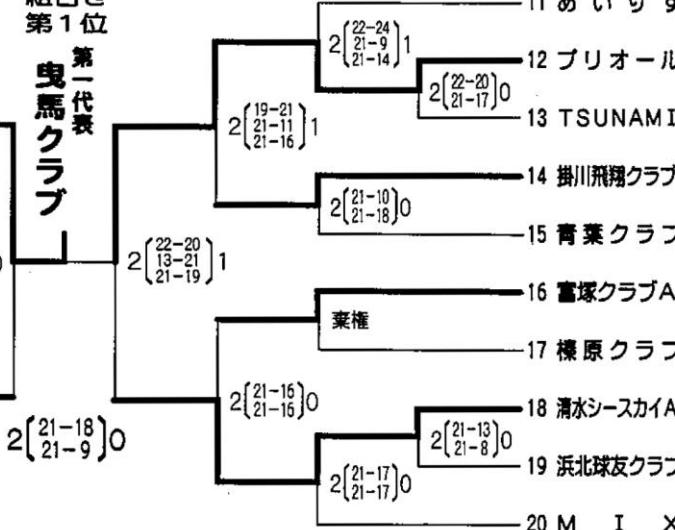
小さな子供達を抱え練習や試合で家を空けるのが大変ですが、送り出してくれる家族に感謝し、協力に答えられるよう結果を出したいです。まだまだ未熟なチームですが、来年はこの若いパワー全開で頑張ります。

電脳クラブ



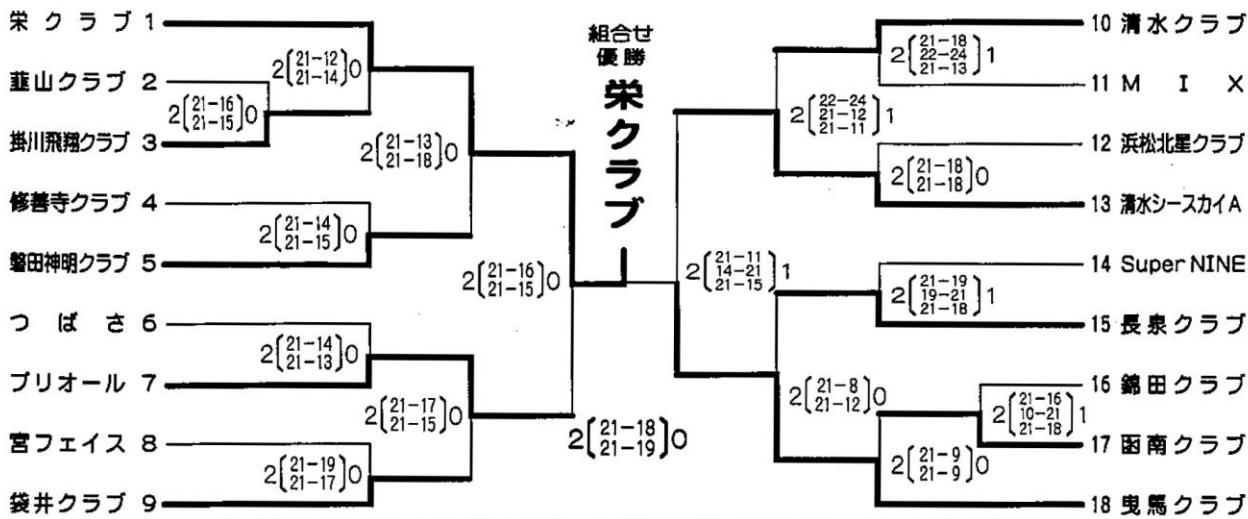
第1位

第一代表



2位／(第2代表)ブリオール 3位／袋井クラブ 3位／清水シースカイA

◎ 静岡ろうきん杯 第32回 静岡県家庭婦人バレー選手権大会 ◎
期日：平成18年11月5日(日) 会場：県営葛西総合運動場体育館



準優勝／鬼馬クラブ 3位／プリオール 3位／清水シースカイA

東海大会派遣審判員を終えて

勝又明美

10月15日、岐阜県の北方町総合体育館で、一日審判の勉強をさせて頂きました。岐阜駅から車で20分程の、田んぼに囲まれたのどかな環境の体育館でした。当日の8時30分の集合時間には到底間に合わせず、戸塚理事長にお供して前泊させて頂きました。

日暮れ前にホテル到着、理事長はお忙しく私は一人ぼっち、ルールブックを読み直して頭の整理でもすれば良いのを、夕暮れの岐阜の町並みを歩き回りました。何處も車の多い事、一試合目は副審、三試合目は主審を吹かせてもらいました。カツカツ良くやろうにも自分は自分でしかなく、「謙虚であれ」を飲み込んで、平常心でやろうと思いました。県代表チームが揃う試で、ボール運びも速く目がついいくのに精一杯で、反省しきりでした。東海審判長深尾さんからは、ビシッとした審判を心がけるよう、「指導頂きました」。

鬼馬クラブは決勝を前に破れ残念でした。プリオールは夜中の3時に家を出たとか、やはり大きな大会なのだと思いました。岐阜県の役員の皆様には、車での迎送をはじめ、すっかりお世話になりました。私にとって、刺激のある貴重な一日となりました。ありがとうございました。

静岡ろうきん杯に参加して

清水クラブ 細井早苗

春、秋と東部予選を連続して、県大会に出場することができます。課題はいろいろありました。サープレーンと二段トス。ここに重点を置いて練習してきました。なかなか成果の見えないままの県大会となりましたが、やはり、その部分で負けてしまったような気がします。

下手な私をチームに迎えてくれたチームのみんなのためにもと思い、練習を続けてきましたが、残念な結果に終わってしまいました。申し訳なく思っています。これからももっと練習を重ねて、少しづつできないことをクリアして、チームのみんなで、最後の最後に喜び合える日のために、頑張っていきたいと思います。

長泉クラブ 露木敬子

初めて、この大きな大会に参加させて頂きました。誠にありがとうございました。ろうきん様や大会役員のお力添えにより、躍動感あふれる試合を経験できた事はチーム一同、心より感謝致しております。しかも、季節柄、様々な行事も重なる何かとご多用中の折に、地区予選からの準備や運営に携わってくださいました多くの関係者の皆様方におかれましては、誠に頭の下がる思いでございます。

お蔵様で怪我人も無く、試合に集中できた事で、ベスト8に残りました。また、決勝戦を観戦させて頂く中で、沢

山の刺激を受けましたし、9人制はネットプレーも決め技である事を教えられました。私達の気持ちは既に来年に向けて、勝利を目指すべく、熱戦を見ています。

今年を振り返つて見ますと、チームメンバーによる諸々の事情等で、大会毎にポジションも変わり、かなり厳しい状況でしたが、「試合に出たい、勝ちたい」という気持ちが皆の心を動かしたのかも知れません。チーム課題である「助け合いの精神」を念頭に置き、自分の事だけではなく「仲間の為に何をすべきか」を、誰もが心掛けてくれた結果だつたと実感しました。この様にバレー・ボールを楽しく出来るのは、日頃から多くの方々に支えられている訳ですが、家族の協力と理解があるからこそだと受け止め、自分の置かれている環境に改めて感謝しております。

スポーツを通じて、感動を分かち合える仲間がいて、同じ空気の中で共に爽やかな汗を流せる事が、何よりも嬉しく思います。

掛川飛翔クラブ 矢部弘子

本大会も32回を迎え、協賛のろうきん様、並びに役員の皆様には、大変感謝しております。ありがとうございます。

我がチームは創部二十六年になります。誰もが目標とするセンターコートでの試合も経験した時期もありましたが、最近では予選落ちの年が続き、今年はかるうじて最下位ながら県大会に出場することができました。

入場行進に始まり、独特の雰囲気の中での試合。残念ながら二回戦敗退となりましたが、楽しむ事ができました。また、素晴らしい決勝戦をまのあたりにして、レベルの違いを感じながらも、ツツツツと闘志がわいてきました。

今後はレベルアップして、栄光の軌跡に「掛川飛翔」の名前を刻んでいかなければと思った一日でした。

袋井クラブ 今城敬子

袋井クラブのろうきん杯は、わがチームの飛田キャブテンの選手宣誓から始まりました。西部二位での本大会出場でしたが、二回戦敗退という結果で終わってしまいました。満足できず残念でした。県では、もっとやれるという気持ちをそれぞれが持つて臨みました。しかし県のレベルは予想以上に高く、圧倒された思いです。この高いハーツドルをこの先、どう乗り越えて戦つかが、我がチームの課題です。

チームが結成されて十年以上が経ちました。途中、選手の入れ替えがあつたりしましたが、止まらずに続けてくる事が出来ました。選手の年も揃つて充実してきました。目標はもちろん勝つ事ですが、チーム十四名、みんなが楽しく活躍できる、そんなチーム作りをしていきたいと思っています。多方面から、いろいろな形でフォローをして頂いてバレーが出来る事に感謝し、バレーを通じて私達も身心共に成長し、あります。

生涯バレー七まるバボちゃん親睦大会

七まるバボちゃん健在

発起人 中西満子

86名の参加のもと、開催された七まるバボちゃん親睦大会を、共にバレーボール人生を歩んでこられた多くの球友の協力を得て、中伊豆体育館において、十一月十二日に楽しく開催することができました。

「無理をしない、頑張らない」ことを皆さんにくれぐれもお願いし、一人の怪我人、病人が出ないことを祈りつつ試合を見守りました。足は床からあまり離れず、両手より片手のプレーがあり、自分の前のボールはしっかりとバスで返球、ちょっととボールが離れた時はお見合いをし、しつかりとあいさつの言葉を守つて無理せず頑張らず、ご自分の安全はしつかりと守りながらプレーをして下さいました。中には、いそじ大会へ参加出来る程の若々しいプレーをして下さっている方達も多く見られました。おかげさまで日頃の練習の成果があり一人の怪我人も病人も出さずに大会を終えることが出来ました。若い時にしつかり身につけた、競技の進行と審判員の努力により予定より早く宿舎に行く事が出来ました。お見事と言うより他ありません。

夜の懇親会も、明るく楽しく健全な会となりました。発起人として一年後に備え、アイデアを考え、喜んで頂けるような大会にしたいと思つております。

終わりにお願いしたい事は、七十の皆さん方は、先輩として「心・技・体」、技は無理かも知れませんが、後につづく人達に心と健康はお手本になるように、努力され、ご自分をお磨いて下さることを祈ります。

七まるバボちゃん親睦大会に参加して
沼津レモンズ 森 布子

「七〇歳バレーがあるんだつてよ。」こんな声を聞いたのが春ころだつたでしょうか。実現に向かつて、いろいろと苦労下さった連盟役員の皆様本当にありがとうございました。記念品としていた「ピンクのハンカチ」は七まるバボちゃんの、元気だいた

じるしのシンボルとして大切にしたいと思います。

十一月十二・十三日の両日、中伊豆体育館で大会が行われました。シニア大会とは思えない程の館内は活気と笑いがありコートの中で夢中でボールを追いかける

自分にまだ身体が動くことを、実感した一日でした。又、宿は修善寺温泉「桂川」での楽しいひとときを過ごし、素晴らしい七まるバボちゃんの大会でした。これら的人生を存分に楽しむためにも、健康でいつまでも若さを保つために、元気でバレーボールを楽しみたいと思っています。

七まるバボちゃんへの感謝

秋桜 小沢利江

古希を過ぎた昨今、コートに入ることが少なく淋しく思つておりましたが、こんな私達が楽しめる大会を開催して下さった役員の方々に感謝を申し上げます。三十有余年のバレーボール人生の間には、家庭の中にボールを続けることで救われ、嫌なことも苦しいことも、そのつど乗り越えて参りました。精神的にチームメイトに励まされ、助けられての人生でした。本当に、今まで続けていて良かつたと思っております。

第一回いそじ大会、ことぶき大会、そして今回の七まるバボちゃん大会と、すべて第一回から参加させて頂き、勿体ない程の思い出を作らせて頂きました。生涯スポーツとしての実践への道をつけて下さいました役員の方々に重ねてお礼を申し上げ、次回を楽しみにして練習に励んで行きます。

七まるバボちゃん親睦大会

糸谷 服部妙子

朝刊を見ていると修善寺公園の見事な紅葉の写真が目に飛び込んで来ました。するとどうでしよう、心から樂しかった試合、初冬の青空に裏とした富士山、和やかで賑やかに時の過ぎの流れも忘れてしまった懇親会、さわやかな朝の桂川沿いの散

策等が一瞬にして、七まるバボちゃん大会の時の風景が頭の中に蘇つて来ました。

好きなバレーボールを長年続けて来ましたが、古希まで楽しめることはいませんでした。その上、今年はことぶき全国大会へ参加させていただき、この上ない幸せを感じています。

これも名誉会長、会長、役員の方々、チームの皆さん、家族の人達のお陰と心より感謝し、お礼申し上げます。

大好きなバレーボールに励みながら、多くの人達の笑顔に出会えることを楽しみに頑張って行きたいと思っています。

◆第9回東海家庭婦人バレーボール「ことぶき大会

開催期日 平成18年8月19日(木)
会場 関市総合体育館
参加チーム 静岡「コムツト・静岡ボラリス
沼津レモンズ・しみず・島田ファイブ

静岡クラブA・掛川ボラーズ
沼津レモンズ・しみず・島田ファイブ

◆第14回東海家庭婦人バレーボール「いそじ大会

開催期日 平成18年10月21日(土)
会場 津市安濃中央総合公園体育館
参加チーム may・クラブフライム
静岡クラブA・掛川ボラーズ

◆「縄文の郷 青い森に集う」第11回全国家庭婦人バレーボールことぶき大会

開催期日 平成18年10月5日(木)～7日(土)
会場 新青森県総合運動公園青い森アリーナ
参加チーム 純・ウエスタン

◆「山梨県山梨に集う」第18回全国家庭婦人バレーボールいそじ大会

開催期日 平成18年10月12日(木)～14日(土)
会場 山梨県小瀬スポーツ公園体育館 他
参加チーム 静岡クラブB

静岡クラブ2 (21-21-15) 0-0 (勝失点差による)
* Aブロック2組 2位 (得失点差による)

平成18年度 県大会成績

月日	大会名	1位	2位	3位	
4/2	真田杯	Aグループ	曳馬クラブ	栄クラブ	MIX
		Bグループ	清水シースカイA	つばさ	掛川黎明クラブ
		Cグループ	浜松フェニックス	宮フェイス	プリオール
6/4	全国ママさん大会県予選	あいりす	大須賀ウェーブ	富士茜クラブ	プリオール
9/3	コカ・コーラ セントラル ジャパンカップ 県大会	Aグループ	栄クラブ	須津クラブ	富士茜クラブ
		Bグループ	プリオール	MIX	浜松フェニックス
		Cグループ	住吉クラブ	つばさ	宮フェイス
9/24	東海大会県予選	曳馬クラブ	プリオール	袋井クラブ	清水シースカイA
11/5	静岡ろうきん杯	栄クラブ	曳馬クラブ	プリオール	清水シースカイA
11/19	LAWSON CUP県予選	MIX	清水シースカイA	ふじクラブ	青葉クラブ
6/10	全国いそじ大会県予選	may	クラブ プライム	静岡クラブA	掛川ボブラーズ
6/10	東海いそじ大会県予選	静岡クラブD	つくし	かの川クラブ	松風クラブ

主催・後援・協賛各社 平成18年度	真田杯 静岡県バレー ボール 優勝大会	サッポロビール(株) 東海北陸本部静岡支社
	第37回 全国ママさんバレー ボール 大会 県予選	朝日新聞社・静岡朝日テレビ
	コカ・コーラ セントラル ジャパン 第30回静岡県家庭婦人バレー ボール 大会	コカ・コーラ セントラル ジャパン(株) テレビ静岡
	静岡ろうきん杯 第32回静岡県家庭婦人バレー ボール 選手権	静岡県労働金庫・静岡朝日テレビ 朝日新聞社
	第2回 LAWSON CUP 静岡県予選大会	ローソン(株)・朝日新聞社

ご協力ありがとうございました

目の前にさまざまな困難が立ちはだかり、とても突破できないと感じる時、不安にかられながらも、それらにチャレンジしていきたい。チャレンジする者だけが、事を成していく。

新しい自分の能力が見出せるのも、チャレンジすればこそである。「こんなこともできるのか」と、今まで気つかなかつた自分の能力を発見することが多い。できそうにないからと、取り組む前にあきらめでいては、いつまで経っても自分の能力を引き出すことはできない。

人生は試練の連続である。自分の能力を信じてチャレンジしていけば、道は必ず開けるだろう。「いい人生の生き方」より

編集後記

新規登録チーム紹介(7チーム)

- | | | |
|--|---|--|
| <p>◆東部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キズナ ・友愛クラブ ・富士見ヶ丘 <p>◆中部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和楽 | <p>《いそじの部》</p> <table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>◆東部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・B.B.W <p>◆中部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・六合クラブ <p>◆西部</p> </td> </tr> </table> | <p>◆東部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・B.B.W <p>◆中部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・六合クラブ <p>◆西部</p> |
| <p>◆東部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・B.B.W <p>◆中部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・六合クラブ <p>◆西部</p> | | |

